

令和 7 年 9 月定例市議会 市長行政報告

皆さん、おはようございます。

9 月定例市議会の開会にあたり、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、御多忙の折にもかかわらず御参集をいただき、厚くお礼を申し上げます。

議案等の説明に先立ちまして、行政報告をさせていただきます。

はじめに、玉野競輪についてであります。

7 月 18 日から 21 日の 4 日間、GⅡ特別競輪である第 21 回サマーナイトフェスティバルがチャリロトバンク玉野で開催されました。

競輪界のトップクラスの選手の熱い戦いに加え、「フルサト超感謝祭」と題した人気芸人のお笑いライブや業界初のドローンショーなどが行われ、前回は 1 万人以上、上回る、約 2 万人のお客様にご来場いただきました。また、売上については目標を 10 億円上回る 85 億円を達成しました。

玉野競輪は、本市の貴重な地域資源の一つであり、本市への誘客の一翼を担っております。今後もこうした開催を通じて、市内外からより一層の集客を図るとともに、さらなる収益の確保に繋げて参ります。

次に、就職説明会についてであります。

7 月 23 日に産業振興ビルでマリン玉野産業フェア、7 月 28 日に岡山コンベンションセンターで玉野市合同企業説明会、8 月 6 日にピュアリティまきびで就職情報交換会が開催されました。

それぞれは、学生や学校向けに行われた市内の企業の説明会で、人事担当者との面接をはじめ、企業 PR や情報交換が行われました。

本市といたしましても、市内の企業情報や従業員のメッセージを掲載した「たまのの企業ガイド」の発行や、小学生向けの地元企業バスツアーを計画するなど、引き続き市内企業の魅力発信を行うとともに、地元

への愛着や誇りの醸成に努めて参ります。

次に、グロスターホームステイ事業についてであります。

7月23日から8月4日までの13日間、2年ぶりに市内在住の中高生5名が姉妹都市であるアメリカ・グロスター市を訪問し、ホームステイをしました。

帰国後の8月22日には報告会が開催され、参加者たちからは「グロスター市に行って一回り大きくなれた」「最初は難しかった英語にも果敢にチャレンジした」など、旅の振り返りと感謝の言葉が述べられました。

本年10月には、グロスター市訪問団が本市へ来訪される予定です。

今後も若者世代が異文化理解を深め、多様な価値観を学べる場の提供を行うとともに、本市としても継続して交流し、相互理解を深めて参りたいと考えております。

次に、全国高等学校総合体育大会についてであります。

7月28日から8月3日にかけて、全国高等学校総合体育大会、インターハイのボクシング競技が総合体育館（レクレセンター）で開催されました。

同大会には全国から選手や監督、関係者約700人に加え、市内外から観戦者など多くの方が訪れ、選手の躍動する姿が多くの方々を魅了し、48年ぶりにインターハイの開催地となった玉野市を大いに沸かせてくれました。

市内の高校生ボランティアをはじめ、運営スタッフや玉野市実行委員会など、多くの方の支えによって、大会を開催することができました。改めて、大会に携わっていただいた全ての方に心より感謝申し上げます。

また、市内小中学生による応援メッセージの掲示や本市特産品の販売、またスタッフ全員がおもてなしの心を持って対応することで、本市の魅力発信にも繋がったものと感じております。

次に、玉野まつりについてであります。

8月2日、3日両日で、第56回玉野まつりが開催されました。

2日のおどり大会には、昨年を超える19団体、約600人の踊り連が参加し、約5,500人の方が来場されました。

また、翌3日には、3年ぶりとなる花火大会が宇野港第一突堤で開催され、1万人を超える方にご来場いただきました。

当日は尺玉を含めて3,000発の花火が打ち上げられ、瀬戸内の多島美を背景に、玉野の夜空を鮮やかに彩り、会場からは感嘆の声が上がっておりました。

おどり大会は、市制30周年を記念して昭和45年から開催し、花火大会は昭和56年から開催されている玉野市の夏の風物詩であります。

これからも市民の皆様にも長く愛されるまつりとなるよう、魅力を高め、次の世代へ継承して参ります。

次に、国・県等に対する提案活動についてであります。

本市の令和8年度重点施策提案につきまして、国に対しては三宅議長にもご同行をいただき、提案活動を行いました。

提案内容としては、「海事産業への支援」や「重要港湾の整備・利用促進」などのほか、新たに「通学路の安全確保」を加えた計7項目につきまして、国会議員及び国、県の担当部局を回り、提案を行ったものであります。

今後も機会を捉え、本市の発展並びに課題解決に向け、関係機関に対し積極的に働きかけて参ります。

次に、子育て支援についてであります。

「玉野市こども・若者計画（仮称）」の進捗状況について報告いたします。

この計画は、こども基本法に規定される「市町村こども計画」にあた

るもので、貧困問題やヤングケアラー、ひきこもりなどの状況にある子どもや若者に寄り添い、全ての子ども、若者の成長を社会全体で支援していくために必要な施策の展開を図ることを目的としています。

これまで、6月に第1回の会議を開催し、現在、子どもの生活実態アンケートを実施しております。

今後、全ての子ども、若者が将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指す「玉野市こども・若者計画（仮称）」の策定を進めて参ります。

また、先般の臨時議会で議決いただきました補正予算のうち、「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用する3つの事業を着実に実施して参ります。

その中で、市内で開催される「こども食堂」に対して、経費の一部を初めて補助いたします。

これは、こどもが安心して食事ができる場所として、また地域における居場所として、地域福祉の向上につながっている活動に対して、食材費をはじめとした急速な物価高騰に対する支援を行うものであり、運営団体の皆様には補助金の趣旨をご理解いただき、利用状況や運営実態を確認して実施する予定です。

引き続き、「希望をもって安心して子育てできるまち」の実現を目指し、地域の多様な主体との連携を強化し、子育て支援策の充実に努めて参ります。

最後に、新庁舎整備についてであります。

7月9日に、玉野商工高校機械科の生徒が校外学習として新庁舎の工事現場を見学しました。

生徒は、新庁舎の概要説明を受けた後、工事現場を見学し、仕事の内容、働き方などを質問するなど、現場の雰囲気を感じた様子でした。

また、8月1日には、市内の4校の高校生が製作した仮囲いアートの

お披露目会を開催いたしました。

仮囲いアートは、「玉野のイチオシ！」をテーマに、生徒の皆さんが制作したもので、計 25 点を工事エリアの仮囲いに展示しています。展示は令和 8 年 4 月までを予定しております。

なお、工事の進捗状況ですが、6 月下旬から行っていた免震装置の据付工事が完了し、8 月初旬には免振装置上部の基礎工事が完了いたしました。

現在は 1 階の躯体工事が進められており、今後、上階の躯体工事に取り掛かる予定としております。

令和 8 年 6 月の竣工に向け、市民にとって便利で親しまれる新庁舎となるよう引き続き整備に取り組んで参ります。

以上、行政報告をさせていただきましたが、本日から開会されます 9 月定例市議会においては、報告事項 3 件、予算議案 2 件、決算議案 9 件、条例議案 2 件、その他議案 5 件の合わせて 21 件を提案しております。

この後、報告事項及び各議案についての御説明をさせていただきますが、議員各位におかれましては、本会議及び常任委員会において御審議を賜りますようお願いを申し上げます。